

県小教研

平成 23 年度 上越市「学校保健部」活動報告

1 はじめに

上越市学校教育研究会では、養護教員部会として研修活動を継続している。また、平成 23・24 年度は、研究主題を設定し、各人のテーマに沿った実践研究を基に、活動している。本報告では、今年度の全員研修について述べる。

2 研究主題と目的

【研究主題】 児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援
～保健室来室者への養護教諭の対応とその視点～

【研究目的】 小・中学校の養護教諭が児童生徒の権利能力の育成のために、発達段階に合わせて、どのような視点を持ち、どのような対応を行っているのかを明らかにするとともに、その対応についても検討する。

3 全員研修会報告

(1) 期日及び会場

平成 23 年 11 月 18 日（金）14：00～16：30 上越市教育センター

(2) 内容

① 講話 「健康管理能力のとらえ方と養護教諭の支援」

講師 上越教育事務所 指導主事 中村 直美 様

② グループワーク

研修テーマに沿った各学校の実践についての意見交換

(3) グループワークの実際

参加者 84 名を個人の研修テーマに沿った意見交換ができるよう 6 グループに編成した。グループは、保健教育、健康相談、保健室経営、保健管理、組織活動、特別支援教育に係る 6 つである。なお、意見交換は、このグループをさらに小集団に分けて行った。

小集団内の意見交換は、各自の実践を基にして、活発に行われた。健康管理能力をどのようにとらえているのか、より良い支援のために各自が意識していること、工夫していることはどんなことか、など。互いの発表から学び合うことができた。

4 おわりに

研修はまだ半ばである。この研修を通して学び合い・感じ合ったことを、さらに今後の自分の実践に生かして研修を進めることを確認して、終了した。健康管理能力の育成は、学校教育の根幹にかかわる課題である。今後も研鑽を重ねたい。